

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

舞鶴市長 鴨田 秋津

市町村名 (市町村コード)	舞鶴市 (26202)		
地域名 (地域内農業集落名)	若浦地区 (大丹生)		
協議の結果を取りまとめた年月日		令和 7 年 1 月 3 0 日 (第 1 回)	

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

※

中山間直接支払交付金対象農地を中心に地域の優良農地を耕作放棄としないよう集落で意識を持って耕作を行っている。
近隣集落からの担い手や移住者なども数人、担い手として入ってきており、地域としての支援体制は整っている。
有害鳥獣対策については田を重点的に柵の設置など行っているが、対策が追いつかない状況である。特に畑については今後営農を継続していくことが困難である。
課題としては、高齢化による担い手不足や兼業農家が多く、若い世代の規模拡大などが難しいことである。
機械を各個人で保有しているため、更新などの費用負担が課題となっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

※

栽培作物については、水稻を中心に耕作を行う。
今後も中山間直接支払交付金を活用し、地域全体で農地の保全等に努める。
営農組合の設立および機械の共同化などを行い、地域全体で営農する体制づくりを検討していきたい。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	13.81 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	10.07 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

地域計画の対象地は農振農用地を基本とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	※
農地中間管理機構を利用して耕作意欲のある担い手への集約化を進める。 特に地域内の優良農地については耕作放棄としないよう努める。	
(2) 農地中間管理機構の活用方針	※
地域全体の農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を斟酌し、段階的に集約化を進める。	
(3) 基盤整備事業への取組方針	※
地域内の農地についてはほぼ基盤整備は完了済みである。	
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
土地所有者の意向を把握し、地区外から担い手を募集し担い手の確保・育成に努める。	
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
特になし	

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

✓	①鳥獣被害防止対策		②有機・減農薬・減肥料		③スマート農業		④輸出		⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等	✓	⑦保全・管理等	✓	⑧農業用施設		⑨耕畜連携		⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①頻繁に有害鳥獣が出没するため、檻の設置、メッシュ柵の管理・設置を行う。
⑦中山間直接支払交付金を利用して、地域内農地の保全に努める。
⑧共同施設の維持・管理。